

# 文学部

英文学科

総合人文学科

歴史学科

教育学科

## 文学部での学び

文学部では、「ことば」を通して「人間」を学んでいます。その学びは、人間の在り方・生き方や人間の文化・歴史を多面的かつ多角的に検討し、「人間とは何か」「よく生きることはどういうことか」という根源的で総合的な問いに迫るものです。このような学びの過程で身につけられた知識や考え方を土台として、他者との共生を可能にする能力と姿勢を育てていきます。“Think for Yourself, Think for the World”という文学部のモットーは、このねらいをまっすぐに表したものです。

他者のため、世界のために課題を見だし解決できる力を育みながら、自らを知り、自ら考え、他者とともに行動できる人を育てる場、それが文学部です。

文学部をもっと知る



## Admission policy

入学者受け入れの方針  
アドミッション・ポリシー

1. 東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
2. 文学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、文学部各学科における主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)  
(英文学科) 英語力を向上させ、英米文学・言語学を学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。  
(総合人文学科) 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学等の人文諸学を学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。  
(歴史学科) 歴史学をグローバルかつローカルな視点から学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。  
(教育学科) 人間の発達・学習に関する事象と教育の実践について学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。

3. 高等学校における学習によって、文学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)
  4. 高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
- 以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
5. スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)
  6. 外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)

「教学上の方針」の詳細はこちらからご確認ください



# 英文学科

## 高い英語力と理解力を持つ国際人をめざして

英語の運用能力を高めるだけでなく、文学・ことば・コミュニケーションについて深く学ぶことを通じて、文化の垣根を越えて他者を理解し、グローバルに活躍できる国際人をめざします。



英文学科をもっと知る



### 専門分野

#### 英米文学

英米の文学について、時代・ジャンル(小説・演劇・詩)を問わず広く学びます。文学から、人間・社会・文化の有り様を考察していきます。

#### 英語学

英語の音声、文法、意味、歴史の研究を通して、言語の一般的特性を解明します。言語を人間の心の認知システムの一つとして科学的にとらえる学問分野であり、「ことば」と「脳」から人間を理解していきます。

最新の学科担当教員はこちら



### Topics

#### 学科の特色1

### 多彩なイギリス小説を掘り下げる

イギリス小説をアカデミックに掘り下げる授業が特徴的。世界的に有名な作家以外にもイギリス独特の習慣・階級制度などが反映されている歴史小説や推理小説、さらに怪奇小説や児童文など多彩なジャンルの作品を読み解きます。英語表現の機微やおもしろさに触れ、また小説に描かれる情景や会話から、リアルなイギリス社会の姿や風習、文化を知ること学問の喜び、目の前に新たな知の扉が開かれます。卒業生である芥川賞作家・佐藤厚志氏は、恩師・植松靖夫教授の授業やテキスト選びに多大な影響を受けたことを後に明かしています。



### Topics

#### 学科の特色2

### 英語を学び、英語で学ぶ実践的なコミュニケーション

キリスト教伝道の牧師を養成する神学校として創立された東北学院。創立当時、アメリカ人宣教師による講義を受けるには、英語の4技能「読む」「書く」「聞く」「話す」が必須でした。この4技能を習得するための教育課程が英文学科へと発展し、現在でも「英語を」学ぶだけでなく「英語で」学ぶことが根本になっています。短期留学をはじめとした留学制度のほか、学内にいながら留学生と交流できる国際交流イベントも多数開催され、さまざまな場でも実践的な英語コミュニケーション力を試すことができます。



## 英語力アップで自信、積極的な性格にボランティア活動で充実した大学生活

3年 川井 彩加 さん  
(宮城県/尚網学院高等学校出身)

英語を専門的に学びたいという願いと、中学校教諭になる夢をどちらも叶えられるのが本学の英文学科でした。専攻は英語学。文法のなりたちや発音時の口腔の仕組み、言語と社会・文化の関わりなど、興味深い授業が多くあります。発音を基礎から学ぶと上達して自信もつき、人見知りを返上して大学主催の国際交流ボランティアに参加できました。留学生の生活サポートや交流会を通してさまざまな出会いがあり、多様な文化や価値観に触れて貴重な体験ができました。

大学生活の思い出はオリエンテーションリーダーとして新入生をサポートしたこと。人前で話す練習を徹底的にするなど、授業だけでは得られない学びや自分自身の成長につながりました。学部を越えた友だちも増え、その後の大学生活が楽しくなりました。



NEXT 卒業生からのメッセージ



# 総合人文学科

「生きる」とは何か、という問いが人生を豊かにする

宗教・哲学・芸術を広く学び、文化や歴史を作った時代的背景や思想を理解することで、物事を多面的にとらえて問題を解決する力を養い、人生を豊かにするための深い人間性を育みます。



総合人文学科を  
もっと知る



## 専門分野

### 思想・哲学

古代中世から近現代まで、洋の東西を問わず幅広く思想・哲学・文学の書物を取り上げ、テキストとの対話を通じてより良く生きることを探究します。また、環境・生命・平和など現代の倫理的問題についても学びます。

### 文化・芸術

ギリシア・ローマ時代以来のキリスト教文化を中心に、多様な文化・芸術について学びます。美術、音楽、文学作品などの諸芸術の専門的な鑑賞や解釈方法を習得し、文化や芸術への理解を深めることをめざします。

### 宗教・神学

西洋世界の基盤となっている旧約、新約聖書の神学思想やキリスト教の歴史を深く学ぶことができます。また仏教やイスラム教などについても知識が深められ、宗教の観点から世界を眺める方法を学びます。

最新の  
学科担当  
教員は  
こちら



## Topics

### 学科の特色1

#### 宗教と 歴史の視点から学ぶ音楽

宗教的、歴史的な視点から音楽を見ていきます。音楽がキリスト教文化においてどのような役割を担ってきたかを知り、賛美歌の歌詞を読み解いて、文化や歴史との関わり含めて学びます。礼拝堂でパイプオルガンの荘厳な音色を聴くほか、楽器の仕組みを知り、裏側に回って大きなパイプがどのように音を反響させているか実際に見る機会も。またヨーロッパの古典音楽が日本に取り入れられて定着した例なども紹介し、生活に密着した音楽を広く取り上げます。音楽の新たな側面に触れる機会です。



## Topics

### 学科の特色2

#### 自己と他己を理解する ディスカッション

演習ではグループディスカッションを多く取り入れます。身の回りの出来事や自分の好きなものなど話しやすいテーマを取り上げつつ、多様性の理解や自己の解放、「人間とは何か」といった根源的な本科のテーマへ導きます。ディスカッションを重ねることで、自分の内面を見つめ、自分の言葉で豊かに表現するスキルを身につけます。2年次までは幅広く学んで知識を吸収し、3年次からはそれぞれが選んだ研究テーマに向かって主体的な学びを深めていきます。



#### 「自分は何者か」を掘り下げる 考えを深める過程こそがおもしろい

3年 西野 蒼 さん  
(宮城県/仙台東高等学校出身)

英語で世界の人と交流したい、そのためには英語圏の多くの人の背景にあるキリスト教文化を知る必要があると考え、本学科を選びました。仏教や儒教の思想にも触れ、宗教は社会を形成する大きな要素の一つであると感じています。宗教以外にも思想・哲学や文化・芸術の教養を深める学びもあり、それらはすべて「自分は何者なのか」と掘り下げることに繋がります。答えの出ない問いですが、私は考えを深める過程そのものが好きでおもしろいです。

一学年50人ほどと少人数で先生との距離の近さが特長。卒業論文のテーマ設定も個別面談で相談し、納得して決めることができました。卒業後は留学エージェントで働きたいと考えています。海外勤務して日本への留学生サポートができればうれしいし、将来的には通訳になるのが夢です。



NEXT

卒業生からの  
メッセージ



# 歴史学科

## 古きを知り、いまを理解する

地域別の歴史を横断的に学び、知識と考え方を身につけることで、現代社会における世界的な問題から地域の課題に至るまでを、広い視野から正しく見通し解決する能力を養います。



歴史学科をもっと知る



### 専門分野

#### 日本史

日本古代～現代までの歴史を、東北地方に焦点を当てるなど、さまざまな視点やテーマから学ぶことができます。

#### アジア史

多種多様な人々の営みからなる中国、内陸アジアの歴史を、政治や文化、民族などの面から研究していきます。

#### ヨーロッパ史

ヨーロッパ史について、固定概念を取り払って事象を分析し、人間の行動や思想に及ぶまで幅広く研究します。

#### 考古学

日本、アジアなどの遺跡・遺物の測量調査や発掘調査から古代の社会や建造物を探ります。

#### 民俗学

民俗学は、日常生活の歴史を探ります。衣食住、冠婚葬祭といった地域文化から、伝承の根強さと暮らしの変化を明らかにします。

最新の学科担当教員はこちら



### Topics

#### 学科の特色1

### 地域のフィールドで学ぶ

東北学院大学の歴史学科は、東北地方における歴史教育・歴史研究の拠点として、地域に根差した活動を展開しています。私たち歴史学科の教育には、文献の読解に加え、フィールドでのアクティブな学びを重視するという特色があります。遺跡の発掘や地域住民への聞き取り、城郭跡の測量など、五感をフルに用いて行う現地調査の体験は、みなさんの歴史観を大きく塗り替えることになるでしょう。多彩かつ地域密着型の教育カリキュラムは専門職の道へもつながっており、歴史学科で学んだ多くの卒業生たちが、学芸員や教員として東北各地で活躍しています。



福島県喜多方市の藤権現遺跡で行われた発掘調査の様子

### Topics

#### 学科の特色2

### 歴史を通じて世界とつながる

地域密着のフィールド体験と並び、東北学院大学歴史学科の学びを特徴付けているのが、その国際性です。私たち歴史学科は、日本史のみならず外国史についても多くの教員を擁し、アジアからヨーロッパに至るまで、世界各地の歴史を専門的に学ぶことができます。英語や中国語をはじめ、外国語学習にも大きな力が入れられており、海外の文献を読みこなして卒業論文を書く学生も少なくありません。またゼミによっては海外研修の機会が設けられているなど、国際交流の機会も豊富です。歴史学科での学びを通じ、皆さんもぜひ東北から世界に羽ばたきましょう。



海外研修で訪れた台湾・鹿港の城隍廟

## 「好き」への情熱あふれる人の集まり 民俗学への興味深まるばかり

3年 佐澤 春花 さん  
(宮城県／宮城第一高等学校出身)

塩竈市に生まれ育ち、由緒ある鹽竈(しおがま)神社やその祭礼が常に身近にあったことから民俗学に興味を持ちました。現在、ゼミ活動を通じて、福島県浪江町南津島地区に伝わる「田植踊り」を保存会の方から習い、継承活動のお手伝いをしています。踊りの動きには、一つひとつ意味がありました。文字では伝えられない歴史や文化が、踊りを通して受け継がれてきたのだと実感しています。

歴史学科には、明確に学びたいことがあって入ってくる学生が多い。話していてもおもしろいのは、何かに熱中している人が多く、好きなことへの熱量が高いからです。先生方も面倒見がよく、楽しそうに授業をしてくれます。私自身は鹽竈神社にまつわる地域の慣習に関して調査・研究しています。今後も、もっと民俗学を突き詰めて、さらに深く研究を進めていきたいと思っています。



NEXT

卒業生からのメッセージ



# 教育学科

教育学科をもっと知る



## これからの時代に対応する指導力と人間力を

子どもを取り巻く環境は加速度的に多様化かつグローバル化しています。現代社会で求められる教員としての指導力とそれを裏付ける専門知識、豊かな人間性を育みます。



### 専門分野

#### 教育学

教育一般、子どもの発達と学習及び学校教育に関する基礎的・基盤的な知識・技能・姿勢について学びます。

#### 児童教育

小学生に学習指導および生徒指導を行うために必要な、基礎的・基盤的な知識・技能・姿勢について学びます。

#### 英語教育

小学校教師また中学・高校の英語教師として必要な英語力を育て、英語そのものそして英語学習・英語指導について深く学びます。

#### 異文化理解教育

ことばや文化が異なる他者と共生する力を育てるために必要なことを学びます。

#### 教職実践

生徒指導、授業づくり、ICT教育、防災・安全教育などに関して発展的に学習し、教師としての実践力を高めます。

最新の学科担当教員はこちら



### Topics

#### 学科の特色1

### ICT活用指導スキルを 実践的に習得

国の施策により全国ほとんどの小中学校で一人一台の端末機が配付されています。学校からの連絡や宿題、家庭での学習成果を録画して送信するなど、活用方法も年々広がってきました。このような状況の中、教員にとってもICT活用指導力は必須スキルです。本学科では学校現場との連携や共同研究を深めながら、日々変化する現場でのICT活用法や課題を学生の学びに活かします。実践的授業を通して、デジタルツールをいかに授業に活かすか、正しい使い方をいかに子どもたちに伝えるかといった技術を磨きます。



### Topics

#### 学科の特色2

### 少人数制で どの校種にも対応するカリキュラム

一学年の入学定員は70人とし、少人数ならではの実践的な授業が特長で、学習指導・生徒指導の両面にわたり指導力を身につける授業を行います。小中一貫、中高一貫教育の広がりを受け、小学校と中学校(英語)の教員免許状を取得できるカリキュラムを設定。教員陣には教育学専門家の他に元小中高教師も名を連ね、実際の現場での経験をダイレクトに伝えます。本格的な模擬授業のほか、普段から指導計画を発表するなど実践経験を積む中で、学年や習熟度に応じた指導方法を身につけることができます。



教育学演習(理科教育)でのフィールドワークの様子

## 超実践的な授業で鍛えられる日々 教壇に立つ日を夢見て頑張ります!

3年 児玉 若奈 さん  
(山形県/東桜学園高等学校出身)

中学生の頃から「将来は小学校の先生になる!」と決めていました。得意分野として英語を身につけたいと考え、英語指導の授業が充実している本学を選びました。授業は超実践的で、楽しくて苦しくてもおもしろい! 模擬授業は準備が大変で、当日も緊張して思うようにできないのですが、毎回達成感と充実感が満たされます。回数を重ねることにクラスの仲間同士お互いの上達を実感できるし、他の人の授業からヒントももらえます。現場経験の豊富な先生から聞くリアルなエピソードも興味深いです。

小学校でのボランティアやインターンシップで、実際の教育現場を体験する機会もあります。少しずつ自分が教壇に立つイメージができてきました。採用試験の対策講座や教職課程センターなど、大学のサポートも心強いです。



NEXT

卒業生からのメッセージ

